

問題

問 1

正解

完璧



直前
CHECK

PMBOKのプロジェクト憲章は、何のために発行するのか。

- ア プロジェクトの方針をメンバに示す。
- イ プロジェクト発足の事前準備として資金調達をスポンサと交渉する。
- ウ プロジェクトマネジメント計画書の骨子をプロジェクトのステークホルダに告知する。
- エ プロジェクトを公式に認可させる

問 2

正解

完璧

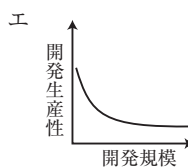
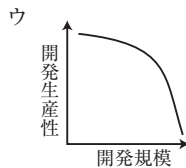
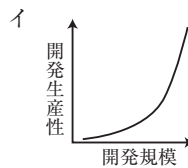
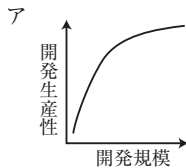


直前
CHECK

COCOMOにはシステム開発の工数を見積もる式の一つに

$$MM = 3.0 \times (KDSI)^{1.12}$$

がある。開発規模（KDSI）と開発生産性（ $KDSI/MM$ ）の関係を表したグラフはどれか。ここで、MMは開発工数（人月）、KDSIは開発規模（注釈を除いたソースコードの行数、単位はk行）である。



**問 1****工**

PMBOK (Project Management Body of Knowledge) は、アメリカの非営利団体 PMI が策定したプロジェクトマネジメントの知識体系である。その中で定義されるプロジェクト憲章は、プロジェクトを公式に認可する文書で、組織の資源をプロジェクト活動に使用する権限をプロジェクトマネージャに与えるものである。

プロジェクト憲章を発行することにより、プロジェクトを組織の定常業務として関連付けられる。

**問 2****工**

本問では開発工数の見積もり式が与えられているので、それにしたがって解答することになる。開発規模 (KDSI) と開發生産性 (KDSI/MM) の関係は、エのグラフの傾向を示す。開發生産性は、開発規模の拡大とともに急激に低下し、大規模開発になるにつれて勾配が緩やかになる。

実際の開発場面でも、ごく少数の開発者による規模の小さなシステム開発では一気にコーディングしてしまうことも可能だが、大規模になればなるほど大勢の開発者が担当するようになり、会議や調整など直接は開發生産性に結びつかない工数が増えるようになるので、正解のグラフがイメージできるだろう。

問題

問 3

正解

完璧



直前
CHECK

PMBOK のプロジェクトスコープマネジメントにおいて作成するプロジェクトスコープ記述書の説明のうち、適切なものはどれか。

- ア インput情報として与えられる WBS やスコープベースラインを用いて、プロジェクトのスコープを記述する。
- イ プロジェクトのスコープに含まれないものは、記述の対象外である。
- ウ プロジェクトの要素成果物と、これらの要素成果物を生成するために必要な作業について記述する。
- エ プロジェクトの予算見積りやスケジュール策定をして、これらをプロジェクトの前提条件として記述する。

問 4

正解

完璧



直前
CHECK

工程管理図表の特徴に関する記述のうち、ガントチャートの特徴はどれか。

- ア 計画と実績の時間的推移を表現するのに適し、進み具合並びにその傾向がよく分かり、プロジェクト全体の費用と進捗の管理に利用される。
- イ 作業の順序や作業相互の関係を表現したり、重要作業を把握したりするのに適しており、プロジェクトの作業計画などに利用される。
- ウ 作業の相互関係の把握には適さないが、作業計画に対する実績を把握するのに適しており、個人やグループの進捗管理に利用される。
- エ 進捗管理上のマイルストーンを把握するのに適しており、プロジェクト全体の進捗管理などに利用される。

**問3****ウ**

プロジェクトスコープマネジメントは、プロジェクトを成功のうちに完了するために必要な作業を過不足無く含めることを確実にするために必要なプロセスからなる。プロジェクトに含まれるもの、含まれないものを明確にし、それらをコントロールする。

プロジェクトスコープ記述書には、プロジェクトの要素成果物と、これら要素成果物を生成するために必要な作業について詳細を記述する。

- ア：WBSは、承認されたプロジェクトスコープ記述書に規定されている作業を表す。
- イ：記述の対象となるものには、プロジェクトのスコープに含まれないものもある。
- エ：プロジェクトコストマネジメントで行われる内容である。

**問4****ウ**

ガントチャートとは、作業の進捗を管理する際に用いられる帯状のグラフである。時間を横軸にとり、各作業項目を縦軸に配置して、予定と実績を線で表記する。作業の進捗状況を把握することができる。

- ア：アーンドバリュー分析に関する記述である。
- イ：アローダイアグラムに関する記述である。
- ウ：ガントチャートに関する記述である。
- エ：マイルストーンチャートに関する記述である。

問題

問 5

正解

完璧

直前
CHECK

クリティカルチェーン法の説明はどれか。

- ア アローダイアグラムを用いて、各作業の余裕日数を算出する手法である。
- イ クリティカルエラーが発生した場合の、その原因究明から修復までの一連の手順を事前に決めておく手法である。
- ウ クリティカルパス上にない作業が遅延し、クリティカルパスが変わるときの変更手法である。
- エ 作業の依存関係と資源の依存関係の両方を考慮して、資源の競合が起きないようにスケジュールを管理する手法である。

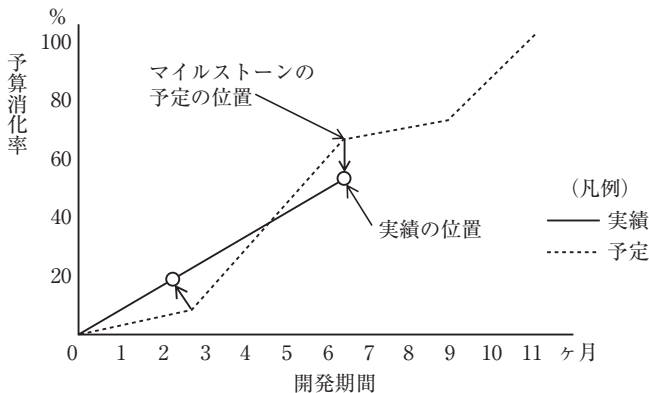
問 6

正解

完璧

直前
CHECK

システムを開発するときの費用管理と進捗管理を同時に行うために、トレンドチャートを用いる。マイルストーンの予定の位置から実績の位置に結んだ矢印が垂直に下に向かっていているときの費用と進捗に関する状況説明として、適切なものはどれか。



- ア 進捗が予定どおりで、費用が予算を下回っている。
- イ 進捗が予定どおりで、費用が予算を超過している。
- ウ 進捗が予定より遅れ、費用が予算を超過している。
- エ 進捗が予定より進み、費用が予算を下回っている。

**問5****エ**

クリティカルチェーン法は、資源（リソース）に限りがあることを考慮してプロジェクトスケジュールを管理する手法である。作業の依存関係と資源の依存関係の両方を見るのが特徴である。

クリティカルパス法との違いは、クリティカルパス法は遅延となりえるスケジュールパスを重点的に管理することであるが、クリティカルチェーン法はクリティカルパスに加えて資源（リソース）を勘案してスケジュールを管理することである。

**問6****ア**

x 軸方向が工期、 y 軸方向が予算消費率を示している。マイルストーンの予定の位置から実績の位置へ結んだ矢印が下に向かうということは、工期に対して、予算消費が進んでいないことを示す。よって、正解はアである。

問題

問 7

正解

完璧



直前
CHECK

プロジェクト期間の80%を経過した時点での進捗率が70%、発生したコストは8,500万円であった。完成時総予算は1億円であり、ブランドバリューはプロジェクトの経過期間に比例する。このときの適切な分析結果はどれか。

- ア アンドバリューは8,500万円である。
- イ コスト差異は-1,500万円である。
- ウ 実コストは7,000万円である。
- エ スケジュール差異は-500万円である。

問 8

正解

完璧



直前
CHECK

過去のプロジェクトの開発実績から構築した作業配分モデルがある。要件定義からシステム内部設計までをモデルどおりに228日で完了してプログラム開発に入り、200本のプログラムのうち100本のプログラム開発を完了し、残り100本は未着手である。プログラム開発以降もモデルどおりに進捗するとき、プロジェクト全体の完了まで、あと何日かかるか。

	要求定義	システム外部設計	システム内部設計	プログラム開発	システム結合	システムテスト
工数比	0.17	0.21	0.16	0.16	0.11	0.19
期間比	0.25	0.21	0.11	0.11	0.11	0.21

- ア 140 イ 150 ウ 161 エ 172



問7

イ

アーンドバリューマネジメント（EVM）は、作業の進捗や達成度の金銭的表現（Earned value）を統一的な尺度として、プロジェクトのパフォーマンス（コスト、スケジュール）を定量的に測定・分析し、一元的な管理を行うプロジェクト管理手法のことである。

EVMの基本となる値は次の三つとなる。

AC（Actual Cost）：コスト実績値。実際に使用したコストであり、時間軸に対して実際にどのぐらいのコストがかかったかがわかる。

EV（Earned Value）：出来高実績値。時間軸に対して実際に完了した成果物を工数に換算し直した実績値。

PV（Planned Value）：出来高計画値。作業の計画段階で割り当てられたコスト。PVとEVの差はスケジュールの差異であり、進捗の遅れを金額で表した値となる。

$$EV = 1 \text{ 億円} \times 70\% = 7,000 \text{ 万円}$$

$$PV = 1 \text{ 億円} \times 80\% = 8,000 \text{ 万円}$$

$$AC = 8,500 \text{ 万円}$$

ア：EVは7,000万円である。

イ：コスト差異（CV）は、 $EV - AC = -1,500$ 万円である。

ウ：実コスト（AC）は、8,500万円である。

エ：スケジュール差異（SV）は、 $EV - PV = -1,000$ 万円である。



問8

イ

はじめに、要求定義から内部設計までの228日から全体の日数を求める。全体の日数は、設問にある期間比から求めることができる。

要求定義：0.25，外部設計：0.21，内部設計：0.11

$$0.25 + 0.21 + 0.11 = 0.57$$

全期間の57%が228日であることがわかる。0.57から全体の日数を求める。

$$228 \div 0.57 = 400 \text{ [日]}$$

次に、200本のプログラム開発のうち100本が開発完了している点から、作業残り日数を求める。プログラム開発の期間比から求めることができる。

$$400 \times 0.11 \div 2 = 22 \text{ [日]}$$

22日分は作業が終了していないことがわかる。

最後に、開発の作業残り日数と、総合テスト、システムテストにかかる期間比から、プロジェクトの全体完了までの日数を求める。

$$22 + 400 \times (0.11 + 0.21) = 150 \text{ [日]}$$



情報システムの企画，開発，運用，保守作業にかかわる国際標準の一つである SPA (Software Process Assessment) の説明として，適切なものはどれか。

- ア ソフトウェアプロセスがどの程度標準化・定量化され，継続的に改善されているかを判定することを目的としている。
- イ ソフトウェアライフサイクルを主プロセス，支援プロセス，組織プロセスの三つのプロセス群に分け，作業内容を定めている。
- ウ 品質保証に関する要求項目を体系的に規定した国際規格の一部である。
- エ プロジェクトマネジメントの知識体系と応用のためのガイドである。



JIS X 0129-1で定義されたソフトウェアの品質特性の説明のうち，適切なものはどれか。

- ア 機能性とは，ソフトウェアが，指定された条件の下で利用されるときに，明示的及び暗示的の必要性に合致する機能を提供するソフトウェア製品の能力のことである。
- イ 効率性とは，指定された条件の下で利用するとき，理解，習得，利用でき，利用者にとって魅力的であるソフトウェア製品の能力のことである。
- ウ 信頼性とは，明示的な条件の下で，使用する資源の量に対比して適切な性能を提供するソフトウェア製品の能力のことである。
- エ 保守性とは，指定された条件の下で利用するとき，指定された達成水準を維持するソフトウェア製品の能力のことである。

**問9****ア**

SPAは国際標準の一つで、ソフトウェアプロセスがどの程度標準化・定量化され、継続的に改善されているかを判定することを目的とした、モデルと実施のためのガイドである。CMM（成熟度モデル）と同じプロセス成熟度モデルであるが、レベル0を追加した6レベルを用いる点が異なる。

レベル0：場当たりので不完全な状態である。

レベル1：プロセスが確立されていない。

レベル2：特定のプロジェクトリーダーや技術者に依存している。

レベル3：首尾一貫したプロセスを標準として持っている。

レベル4：標準化されたプロセスを定量的に測定し、洗練化していく。

レベル5：技術・要件環境の違いによって、標準プロセスを最適化して用いられる。

イ：SLCP-JCF2007の説明である。

ウ：ISO 9000シリーズの説明である。

エ：PMBOK（Project Management Body Of Knowledge）の説明である。

**問10****ア**

ソフトウェアの品質特性はISO/IEC 9126で定められており、機能性（Functionality）、信頼性（Reliability）、使用性（Usability）、効率性（Efficiency）、保守性（Maintainability）、移植性（Portability）がある。このうち保守性は、障害や改訂時の対象箇所の識別の容易度を表す解析性のほか、訂正しやすさを表す変更性、障害などの影響を受けない度合いを表す安定性、試験のしやすさを表す試験性などからなる。

イ：使用性に関する記述である。

ウ：効率性に関する記述である。

エ：信頼性に関する記述である。

問題

問 11

正解

完璧

直前
CHECK

品質の定量評価の指標のうち、ソフトウェアの保守性の評価指標になるものはどれか。

- ア (最終成果物に含まれる誤りの件数) ÷ (最終成果物の量)
- イ (修正時間の合計) ÷ (修正件数)
- ウ (変更が必要となるソースコードの行数) ÷ (移植するソースコードの行数)
- エ (利用者からの改良要求件数) ÷ (出荷後の経過月数)

問 12

正解

完璧

直前
CHECK

マグレガーのY理論の考え方はどれか。

- ア 人間は自分の能力を他人から認められたいと欲求する。
- イ 人間は条件次第では、責任を引き受けるだけでなく、自ら進んで責任を取ろうとする。
- ウ 人間は何の脅威も受けることなく、安全に生きていきたいと欲求する。
- エ 人間は本来自己中心的であり、組織の要求に対して無関心を装うことが多い。

**問 11****イ**

ソフトウェア保守はJIS X 0161（ソフトウェアライフサイクルプロセス－保守）でその詳細が規定されている。ソフトウェア保守はソフトウェア製品のライフサイクルにおける主プロセスである。

ソフトウェア製品の品質については、JIS X 0129-1（ソフトウェア製品の品質－第一部：品質モデル）に規定されている。品質モデルでは、①機能性、②信頼性、③使用性、④効率性、⑤保守性、⑥移植性について定義されている。

ア：リリースする段階でのバグ発生の品質となるため、**信頼性**に該当する。

イ：発生したバグの1件あたりの修正時間は、**保守性**に該当する。

ウ：ソースコードの移植は、**移植性**に該当する。

エ：利用者の改良要求は、**使用性**に該当する。

**問 12****イ**

ダグラス・マクレガーは心理学者、経営学者である。1950年代後半にXY理論を提唱した。XY理論は、二つの異なる人間観と対応するマネジメントスタイルである。

X理論：人間は元々仕事をしたくないと思っており、命令や強制されることで仕事を行うものである。責任をとることを嫌い、業務命令や指示によって業務を達成する。

Y理論：ポジティブに仕事に取り組み、積極的に業務を進めていく人間である。業績によって給与が向上することや、やりがいのある仕事であれば苦にならない。

イ：Y理論の考え方である。

ウ：X理論の考え方である。

問 13

正解

完璧



直前
CHECK

データのグラフ化のうち、適切なものはどれか。

- ア ある製品のマーケットシェアを把握するために、レーダチャートを用いて、競合他社とのシェアの大きさを比較することにした。
- イ 学習科目別のテスト結果の正答率を比較して、どの科目が弱点かを分かりやすくするために、円グラフで表すことにした。
- ウ 企業の売上と経常利益の間に通常は数倍から数十倍の開きがあるので、ある企業の売上と経常利益の年ごとの変化を、縦軸の最大値を金額の大きい方に合わせて折れ線グラフで表すことにした。
- エ コンビニエンスストアにおける店舗ごとの売場面積と売上の相互関係を見るために、散布図で表すことにした。

問 14

正解

完璧



直前
CHECK

PMBOKのリスクマネジメントでは、定性的リスク分析でリスク対応計画の優先順位を設定し、定量的リスク分析で数値によるリスクの等級付けを行う。定性的リスク分析で使用されるものはどれか。

- ア 感度分析
- イ 期待金額価値分析
- ウ デシジョンツリー分析
- エ 発生確率・影響度マトリックス

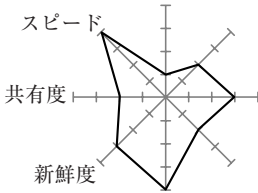
**問 13****工**

ア：レーダチャートは複数の評価項目を表現する。他社とのシェアの大きさ比較には、円グラフが適している。

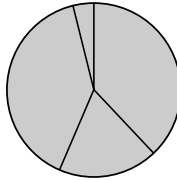
イ：正解率の比較では、折れ線グラフあるいは棒グラフが適していると考えられる。

ウ：目盛りの幅の大きい方は売上になるから、大きい方に合わせたのでは経常利益の変化をとらえにくい。売上と経常利益の二つの縦軸を用いて表すのが良い

エ：二つの評価値の相互関係を見るには散布図が適している。



レーダチャート



円グラフ



散布図

**問 14****工**

定性的リスク分析：リスクの発生確率と影響度を分析することで、その後の分析や対処のための優先順位付けを行う。発生確率・影響度マトリックスが該当する。

定量的リスク分析：リスクを数値で表し、プロジェクトへの影響度を分析する。感度分析、期待金額値分析、デシジョンツリー分析が該当する。

感度分析：複数のリスクの中でプロジェクトに影響を与える可能性を明らかにする分析である。

期待金額値分析：将来発生の有無が想定される場合に、平均的な結果を算出するために用いられる。

デシジョンツリー分析：検討対象の状況を表し、選択可能な想定とシナリオの関係を記述したデシジョンツリー図を使用して分析する。

発生確率・影響度マトリックス：発生確率と優先付けをマトリクス化し、その後実施される定性的分析に利用する。

問 15

正解 完璧 直前
CHECK

要件定義フェーズにおいてBPMN（Business Process Modeling Notation）を導入する効果として、適切なものはどれか

- ア 業務の実施状況や実績を定量的に把握できる。
- イ 業務の流れを統一的な表記方法で表現できる。
- ウ 定義された業務要件からデータモデルを自動生成できる。
- エ 要件をE-R図によって明確に表現できる。

問 16

正解 完璧 直前
CHECK

論理データモデル作成におけるトップダウンアプローチ、ボトムアップアプローチに関する記述として、適切なものはどれか。

- ア トップダウンアプローチでは、新規システムの利用者要求だけに基づいて論理データモデルを作成するので、現状業務の分析は行えない。
- イ トップダウンアプローチでもボトムアップアプローチでも、最終的な論理データモデルは正規化され、かつ、業務上の属性はすべて備えていなければならない。
- ウ トップダウンアプローチでもボトムアップアプローチでも、利用者が使用する現状の画面や帳票を素材として分析を行うのは同じである。
- エ ボトムアップアプローチは現状業務の分析に用いるものであり、新規システムの設計ではトップダウンアプローチを使用する。

**問 15****イ**

BPMN (Business Process Modeling Notation) は、ビジネスプロセス (業務手順) を図によって可視化するためのルールを定義したものである。図によって業務を容易に理解できるようになる。

**問 16****イ**

トップダウンアプローチ：経営者や組織のトップからの要求事項に基づいて論理データモデルを作成する。

ボトムアップアプローチ：利用者などとの接点からの要求事項を集めて論理データモデルを作成する。

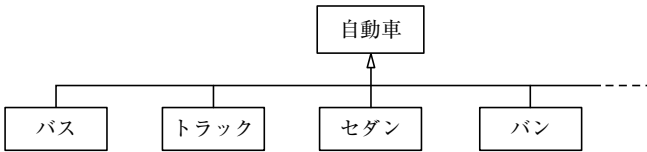
ア：利用者要求に基づくのは、ボトムアップアプローチである。

イ：正しい。トップダウンアプローチ、ボトムアップアプローチのどちらを利用しても良い。最終的には業務上の属性が必要となる。

ウ：利用者が使用する現状の画面や帳票は現場からの仕様であるため、ボトムアップアプローチである。

エ：新規システムの設計では、トップダウンアプローチ、ボトムアップアプローチのいずれでも良い。現場からの要求事項に基づいて新規システムを設計するケースもある。

次のクラス図におけるクラス間の関係の説明のうち、適切なものはどれか。



- ア “バス”，“トラック”などのクラスが“自動車”クラスの定義を引き継ぐことを，インスタンスという。
- イ “バス”，“トラック”などのクラスの共通部分を抽出し“自動車”クラスとして定義することを，汎化という。
- ウ “バス”，“トラック”などのクラスは，“自動車”クラスに対するオブジェクトという。
- エ “バス”，“トラック”などのそれぞれのクラスの違いを“自動車”クラスとして定義することを，特化という。

SOA（Service Oriented Architecture）の説明はどれか。

- ア Web サービスを利用するためのインターフェースやプロトコルを規定したものである。
- イ XMLを利用して，インターネット上に存在するWeb サービスを検索できる仕組みである。
- ウ 業務機能を提供するサービスを組み合わせることによって，システムを構築する考え方である。
- エ サービス提供者と委託者との間でサービスの内容，範囲及び品質に対する要求水準を明確にして，あらかじめ合意を得ておくことである。



問 17

イ

問題の図では、自動車がスーパークラスでバスやトラックがサブクラスとなる。複数のサブクラスに共通する性質をまとめる操作が汎化であり、共通する性質をまとめたものがスーパークラスである。

- ア：継承（インヘリタンス）の説明である。
- ウ：サブクラスの説明である。
- エ：汎化の説明である。



問 18

ウ

SOAとは、システムをいくつかのサービスの集まりとして構築する設計手法のことである。

- ア：WSDL（Web Services Description Language）の説明である。
- イ：UDDI（Universal Description, Discovery, and Integration）の説明である。
- エ：SLA（Service Level Agreement）の説明である。

問題

問 19

正解

完璧



直前
CHECK

リバースエンジニアリングの説明はどれか。

- ア 既存のプログラムからそのプログラムの仕様を導き出すこと
- イ 既存のプログラムから導き出された仕様を修正してプログラムを開発すること
- ウ クラスライブラリ内の既存のクラスを利用してプログラムを開発すること
- エ 部品として開発されたプログラムを組み合わせてプログラムを開発すること

問 20

正解

完璧



直前
CHECK

情報システムの設計において、フェールソフトが講じられているのはどれか。

- ア UPS 装置を設置することで、停電時に手順どおりにシステムを停止できるようにし、データを保全する。
- イ 制御プログラムの障害時に、システムの暴走を避け、安全に運転を停止できるようにする。
- ウ ハードウェアの障害時に、パフォーマンスは低下するが、構成を縮小して運転を続けられるようにする。
- エ 利用者の誤操作や誤入力を未然に防ぐことで、システムの誤動作を防止できるようにする。

問 21

正解

完璧



直前
CHECK

ITIL v3における変更管理プロセスの考え方のうち、適切なものはどれか。

- ア IT サービスへの影響を把握するために、すべての変更要求は変更諮問委員会 (CAB) で承認又は却下する。
- イ 公平性を保つために、緊急な変更要求以外は到着した順に処理する。
- ウ パスワードの更新や再設定は、変更要求として管理する。
- エ 変更諮問委員会 (CAB) だけではなく、緊急時の決定を下す権限を有する小規模な組織を特定しておくことも必要である。

**問 19****ア**

既存のプログラムから設計仕様などを抽出して、そのソフトウェアの修正や再開発を支援したり、他社製品を分析・調査してその情報を利用したりすることをリバースエンジニアリングという。

リバースエンジニアリングは**著作権の侵害**になる可能性があるため、実施する際は注意が必要である。

**問 20****ウ**

フェールソフトとは、システムに障害が発生しても運転継続できるようにすることである。障害部分を切り離し、能力を落として稼働（縮退運転）を継続する。

ア、イ：システムを安全に停止することは、可用性の確保である。フェールソフトは障害時の縮退対策である。

ウ：正しい。構成を縮小して運転することが縮退運転にあたる。

エ：フルプールの説明である。

**問 21****エ**

変更管理とは、変更の要求（RFC）に対して判断を行い、変更の許可もしくは否認を行うことである。

ア：変更管理の責任者（**変更マネージャ**）の判断で、軽微な変更の許可を行うことも可能である。CABによってすべての判断を行うのは、時間や労力に無駄が出るためである。

イ：変更の可否は、緊急度、優先度を総合して判断する。

ウ：パスワードの更新は定常的な運用の中で行われるものであり、変更管理プロセスの中では扱われない場合もある。

エ：正しい。変更管理プロセスの中では、緊急時に人が集まらない場合を想定する必要がある（例えば深夜の障害等）。

問題

問 22

正解

完璧

直前
CHECK

システムの非機能要件はどれか。

- ア システム化を実現する業務の範囲
- イ システムの情報（データ）の流れ
- ウ システムの操作性，サービス時間
- エ 他システムとのインタフェース

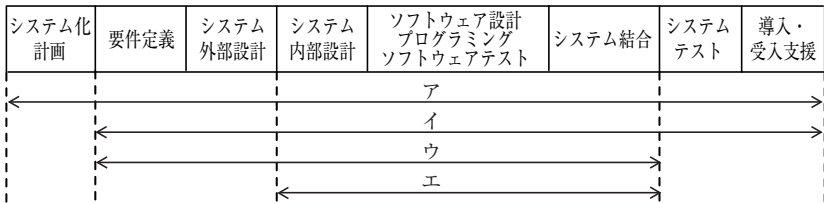
問 23

正解

完璧

直前
CHECK

経済産業省の“情報システム・モデル取引・契約書”によれば，ユーザとベンダ間で請負型の契約を推奨しているフェーズはどれか。



- ア システム化計画フェーズから導入・受入支援フェーズまで
- イ 要件定義フェーズから導入・受入支援フェーズまで
- ウ 要件定義フェーズからシステム結合フェーズまで
- エ システム内部設計フェーズからシステム結合フェーズまで

**問 22****ウ**

機能要件：業務システムを開発する上で、業務システムで必要とされる機能を示すもの。

非機能要件：機能要件以外のすべてを指す。たとえば、セキュリティ対応や、可用性といった直接業務とは関連しないが、要件としては定義する必要があるもの。

ア、イ、エ：機能要件に該当する。

ウ：非機能要件に該当する。

**問 23****工**

情報システム・モデル取引・契約書は、経済産業省が提示する情報システムの信頼性向上・取引の可視化に向けた取引・契約のあり方等の論議及びパブリックコメントを集約したものである。

ユーザとベンダ間の取引を奨励するのは、「モデル取引・契約のポイント」に記載されている。

取引・契約にモデルにおけるフェーズ分け	モデル契約書雛形における個別業務と契約類型
システム化計画	対象外
要件定義	準委任型
システム外部設計	準委任型もしくは請負型の選択
システム内部設計	請負型
ソフトウェア設計	
プログラミング	
ソフトウェアテスト	
システム結合	
システムテスト	準委任型もしくは請負型の選択
導入・受入支援	準委任型

問題

問 24

正解

完璧



直前
CHECK

プロジェクトマネージャのP氏は、A社から受託予定のソフトウェア開発を行うために、X社から一時的な要員派遣を受けることを検討している。労働者派遣法に照らして適切なものはどれか。

- ア 厳しいスケジュールが見込まれることから、X社へ^{かし}瑕疵担保責任を負わせる契約案を提示した。
- イ 前回委託した際にプロジェクトの成功に大きく貢献したX社のY氏の参加を契約の条件とした。
- ウ 派遣される要員のスキルを適切に判断しようと考え、事前にX社の派遣候補者を面接した。
- エ 派遣者への業務指示など、派遣に伴う各種業務をP氏が直接行うことをX社に伝えた。

問 25

正解

完璧



直前
CHECK

OECDの“プライバシー保護ガイドライン”の原則を適切に説明したものはどれか。

- ア “公開の原則”は、組織体が講じている個人データの安全管理策の内容を公開することを要求している。
- イ “責任の原則”は、組織体のすべての要員が個人データの保護に関して責任を負うことを要求している。
- ウ “データ内容の原則”は、収集した個人データを利用目的に必要な限度で正確、完全、最新の状態に保つことを要求している。
- エ “利用制限の原則”は、個人データを収集する際、本人に収集目的を通知する、又は同意を得ることを要求している。

**問24****工**

労働者派遣法では、派遣労働者を特定する行為（面接や指名）を禁止している。また、派遣は成果物に対して責任を負わないため、未達の場合にペナルティを課すことはできない。

第二十六条

労働者派遣（紹介予定派遣を除く。）の役務の提供を受けようとする者は、労働者派遣契約の締結に際し、当該労働者派遣契約に基づく労働者派遣に係る派遣労働者を特定することを目的とする行為をしないように努めなければならない。

- ア：ペナルティを条項は設定できない。
 イ、ウ：指名や、面接はできない。

**問25****ウ**

OECD プライバシガイドラインには、下記の基本8原則がある。

収集制限の原則	収集には制限を設けるべきであり、データ主体に知らせめ又は同意を得た上で、収集されるべきである。
データ内容の原則	利用目的に沿ったものであるべきであり、利用目的に必要な範囲内で正確、完全であり、最新なものに保たなければならない。
目的明確化の原則	目的を明確化しなければならず、その後のデータの利用は、当該収集目的の達成又は当該収集目的に矛盾しないかつ、目的の変更毎に明確化された他の目的の達成に限定されるべきである。
利用制限の原則	明確化された目的以外の目的のために開示利用その他の使用に供されるべきではない。
安全保護の原則	その紛失もしくは不当なアクセス、破壊、使用、修正、開示等の危険に対し、合理的な安全保護措置により保護されなければならない。
公開の原則	開発、運用及び政策については、一般的な公開の政策が取られなければならない。個人データの存在、性質及びその主要な利用目的とともにデータ管理者の識別、通常の住所をはっきりさせるための手段が容易に利用できなければならない。
個人参加の原則	個人はデータ管理者がデータを有しているか否かについて、データ管理者又はその他の者から確認を得ることができる。データに対して異議を申し立てること、及びその異議が認められた場合には、そのデータを消去、修正、完全化、補正させること。
責任の原則	データ管理者は、上記の諸原則を実施するための措置に従う責任を有する。